

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年1月13日 (2011.1.13)

【公表番号】特表2009-544760(P2009-544760A)

【公表日】平成21年12月17日 (2009.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-050

【出願番号】特願2009-529458(P2009-529458)

【国際特許分類】

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/39 (2006.01)

C 0 7 K 16/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 R 1/84 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 19/00

C 0 7 K 14/39

C 0 7 K 16/00

C 1 2 N 1/19

A 6 1 K 39/39

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 1/19

C 1 2 R 1:84

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月22日 (2010.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 2 のポリペプチドに作動可能に結合する第 1 のポリペプチドを含む融合ポリペプチドであって、該第 1 のポリペプチドがマンノシル化され、該第 2 のポリペプチドが免疫グロブリンポリペプチドの少なくとも 1 つの領域を含む、融合ポリペプチド。

【請求項 2】

前記第 1 のポリペプチドがムチンポリペプチドである、請求項 1 に記載の融合ポリペプチド。

【請求項 3】

前記ムチンが、P S G L-1、M U C 1、M U C 2、M U C 3 a、M U C 3 b、M U C 4、M U C 5 a、M U C 5 b、M U C 5 c、M U C 6、M U C 10、M U C 11、M U C 12、M U C 13、M U C 15、M U C 16、M U C 17、C D 3 4、C D 4 3、C D 4 5、C D 9 6、G l y C A M-1、M A d C A M又はそのフラグメントからなる群から選択される、請求項 2 に記載の融合ポリペプチド。

【請求項 4】

前記ムチンポリペプチドが P-セレクトリン糖タンパク質リガンド-1 の少なくとも 1 つの領域を含む、請求項 2 に記載の融合ポリペプチド。

【請求項 5】

前記ムチンポリペプチドが P-セレクトイン糖タンパク質リガンド-1 の細胞外の部分を含む、請求項 2 に記載の融合ポリペプチド。

【請求項 6】

前記第 1 のポリペプチドがアルファ糖タンパク質ポリペプチドである、請求項 1 に記載の融合ポリペプチド。

【請求項 7】

前記第 1 のポリペプチドが α -1-酸糖タンパク質の少なくとも 1 つの領域を含む、請求項 1 に記載の融合ポリペプチド。

【請求項 8】

前記第 2 のポリペプチドが重鎖の免疫グロブリンポリペプチドの領域を含む、請求項 1 に記載の融合ポリペプチド。

【請求項 9】

前記第 2 のポリペプチドが免疫グロブリン重鎖の Fc 領域を含む、請求項 1 に記載の融合ポリペプチド。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の融合ポリペプチドを含むアジュバント組成物。

【請求項 11】

Gal α 1, 3Gal エピトープを担持するポリペプチドを更に含む請求項 10 に記載のアジュバント組成物。

【請求項 12】

ワクチン摂取を必要とする被験体にワクチン接種するための組成物であって、請求項 10 又は 11 に記載のアジュバント及び抗原を含む組成物。

【請求項 13】

請求項 1 に記載の融合ポリペプチドを産生するように遺伝子組み換えされた、酵母細胞。

【請求項 14】

前記細胞が *Pichia pastoris*、*Pichia finlandica*、*Pichia trehalophila*、*Pichia koclamae*、*Pichia membranaefaciens*、*Pichia opuntiae*、*Pichia thermotolerans*、*Pichia salictaria*、*Pichia guercuum*、*Pichia pyperi*、*Pichia stiptis*、*Pichia methanolica*、ピキア種、*Saccharomyces cerevisiae*、サッカロミセス種、*Hansenula polymorpha*、クルイヴェロマイシス種、*Candida albicans*、*Aspergillus nidulans* 又は *Trichoderma reesei* である、請求項 13 に記載の酵母細胞。

【請求項 15】

O-結合グリカンを有することを特徴とするヒト様糖タンパク質を産生する、遺伝子組み換えされた下等真核細胞。

【請求項 16】

前記細胞が N-アセチルガラクトサミニルトランスフェラーゼを発現する、請求項 15 に記載の細胞。

【請求項 17】

N-アセチルガラクトサミニルトランスフェラーゼをコードする核酸分子を含む、ヒト様糖タンパク質を産生する組換え下等真核細胞。

【請求項 18】

前記細胞が *Pichia pastoris*、*Pichia finlandica*、*Pichia trehalophila*、*Pichia koclamae*、*Pichia membranaefaciens*、*Pichia opuntiae*、*Pich*

ia thermotolerans、*Pichia salictaria*、*Pichia guercuum*、*Pichia pyperi*、*Pichia stiptis*、*Pichia methanolica*、ピキア種、*Saccharomyces cerevisiae*、サッカロミセス種、*Hansenula Polymorpha*、クルイヴェロマイシス種、*Candida albicans*、*Aspergillus nidulans*又は*Trichoderma reesei*である、請求項15又は17に記載の細胞。

【請求項19】

前記細胞が、高マンノース構造の産生に関与する1つ以上の酵素を発現しない、請求項15又は17に記載の細胞。